

獣医師はアカデミックな活動だけでなく、動物園や水族館、学校などでも人と動物が共生する豊かな暮らしを支えるために活動しています

こんなところにも！ さまざまな分野で活躍する獣医師たち

これまでのページでは、小動物診療や産業動物診療にあたる獣医師、公務員として家畜衛生や公衆衛生に取り組む獣医師の活動を紹介してきましたが、獣医師の活動場所はほかにも多々あります。私たちが暮らすさまざまな分野で獣医師が活躍し、社会の発展に大きく貢献しています。

皆さん、もう一度動物を取り巻く環境に目を向けてみてください。きっと「いのち」あるところで懸命に働く獣医師たちの姿が見えてくるはずです。



学校動物飼育支援活動

野生動物保護活動

学会での発表

病院での動物ふれあい活動

水族館でのイルカの診療

海外技術協力



獣医学術の振興・獣医学教育・研究 大学や研究機関などで獣医学に関する調査研究を行うとともに獣医学生を教育する

大学や研究機関では、獣医学に関連するさまざまな調査研究を行っています。それらの研究成果は学術集会や学会などで発表され、獣医学術の振興・普及に貢献しています。優れた調査研究が獣医師が活動する分野で役立つことはもちろん、社会全体に役立つことも少なくありません。また、大学には教員として獣医学生の教育に力を注ぐ獣医師がいます。具体的な症例の検討などを通じ、知識や技術を深めています。次代を担う後進の育成も獣医師の大切な役割のひとつです。



学校動物飼育支援 動物の飼育体験を通じ、子供たちに豊かな心を育てる動物介在教育

学校では、動物飼育の実践を通じて子供たちの豊かな心を育む「心の健康教育（動物介在教育）」が行われています。獣医師は、学校で飼育される動物の衛生管理、動物愛護と福祉の観点に立った適正飼育を行ううえで指導的な役割を果たしています。現在、地方獣医師会との連携・協力のもとに、多くの獣医師が活動しています。文部科学省も動物飼育を活用した教育を奨励しており、各地域で獣医師が学校や幼稚園を訪問し、そこで飼育されている動物の飼育指導や診療活動を行っています。



動物介在活動 福祉施設訪問等の社会活動を通じて心の健康を支える

高齢者施設や養護施設などの福祉施設や病院、幼稚園などを動物とともに訪問するボランティアグループがあり、そこでも獣医師が活躍しています。難病と闘う子供たちが入院している病院を訪れることもあり、動物たちの健康チェックは獣医師の重要な役割となっています。この活動は、動物の持つ温もりや優しさに触れることで、動物介在療法を実践するものであり、医師とともに行うことでさまざまな成果を上げています。人々の心の健康を支えることも獣医師の大切な仕事といえます。



野生動物対策・動物園動物診療 野生動物の保護・管理を通じて環境を保護する

傷ついた野生動物たちを前に、個体の救命を主眼とした救護を行う一方で、動物たちの背景にある自然環境全体に思いを巡らせて豊かな生態系を守るための保全医学的な救護を行う。この両者の調和を図るのも獣医師の大切な仕事です。動物園や水族館の獣医師の仕事は、展示動物たちの健康を守ることだけではなく、展示動物たちの飼育環境づくりや国内外の幅広いネットワークを生かした希少種の保護活動、また、市民への環境教育活動にも積極的に取り組んでいます。



バイオメディカル 医師と協力して実験動物を管理し医薬品の開発等を通じて、人の医学にも貢献

動物の健康を保つには、ワクチンをはじめとするさまざまな医薬品が欠かせません。獣医師は動物薬の開発にも携わり、医薬品の予防効果、治療効果、毒性などを調べる各種の有効性試験や安全性試験を行っています。また、動物薬だけでなく、人の医薬品を製造するメーカーでは、製品の開発に欠かせない実験動物の飼育・管理も獣医師の重要な役割となっています。新薬の開発などにも多くの獣医師が携わり、人の医学の発展にも貢献しています。



海外技術協力 家畜衛生、公衆衛生の発展に協力し発展途上国の人々の生活の向上に努める

国際協力機構（JICA）のプロジェクトを中心に、獣医学のさまざまな分野での国際貢献が行われています。アジア、アフリカ、南太平洋地域、中南米などで家畜の健康管理や家畜衛生・公衆衛生分野の指導などに日本の獣医師が力を発揮しています。海外の獣医大学の設立・運営の支援など教育分野でも大きな役割を果たしています。また、最新獣医学の研究成果を学ぶために研修生として日本を訪れる外国人獣医師たちも多く、さまざまな機関で海外からの研修生を受け入れています。